

『海運経済研究』査読論文（英語）執筆要項

日本海運経済学会編集委員会

1. 完全原稿として提出して下さい。
2. 単語のスペル・英文の文法的間違いについては、十分にチェックして下さい。
3. 原稿執筆に当っては、マイクロソフト・ワードを利用してください。本文の文字はMS明朝・10ポイントとしてください。
4. 原稿の分量は、本文、サマリー、表・図、脚注、参考文献等をすべてを含み10ページ以内とします。1ページあたり43字×45行のフォーマットです。分量が守られていない場合、受け付けないことがありますので注意してください。
5. 節・項等の書き方
 - I ………
 - 1 ………
 - (1) ………
 - 1) ………
6. 表・図および数式の記載方法

表・図のタイトルは上側につけてください。

 - a) Table 1 ………, Table 2 ………, Figure 1 ………, Figure 2 ………, のように通し番号をつけてください。
 - b) 表および図の注の入れ方 (MS明朝, 9ポイント)
 - 例 Sourece ………
 - Note 1 ………
 - 2 ………
 - c) 数式の通し番号は左側につけて下さい。
 - 例 3 $TEP_t = C_0 + C_1 TSN_t + C_2 (TFS_t - TSP_t) / TSP_t$
7. 脚注の書き方
 - a) 脚注はワードの機能を利用し、文末脚注とせず、ページ下の脚注とし、MS明朝, 9ポイントとしてください。
 - b) 通し番号をつける。 (例) ………¹⁾.
 - c) 脚注中の文献等の表示方法

書物および雑誌名はイタリックで示し、論文には " " を付す。日本語の書物および雑誌名等は、ローマ字で表記する（ただし、欧文での表記が明示されている場合は、欧文で表示してもよい）。引用のページはp. (単数), pp. (複数) で示す。

注記の例

書物 Sletmo, G.K. and Williams, E.W., *Liner Conferences in the Container Age*, Macmillan, 1981.

論文 Davies, J.E., "Competition, Contestability and the Liner Shipping Industry", *Journal of Transport Economics and Policy*, Vol.20, No.3, Sep. 1986.

以 上

★ 原稿送付先

編集委員会宛 (editor@jslse.jp) にメールで送信して下さい。